

# 第 65 回熊本県民体育祭荒尾大会 スローガン決定！

6月1日から7月31日にかけて、第65回熊本県民体育祭荒尾大会のスローガンを公募したところ、多数の応募をいただきました。

荒尾市県民体育祭選考委員会における選考の結果、次の作品が入賞し、10月6日（火）に市役所で行われた熊本県民体育祭荒尾大会実行委員会設立総会で表彰が行われました。

なお、最優秀作品は第65回熊本県民体育祭荒尾大会のスローガンとして使用します。



↑最優秀賞を受賞した田上さん

## 【入賞作品および入賞者】

- 最優秀賞** 「**出会い ときめき <sup>ひび</sup>響き合い 荒尾県体**」 田上るり子さん（北増永）  
**優秀賞** 「**みなぎる闘志・あふれる感動・歴史と共に・荒尾県体**」 本園しのぶさん（月田）  
**優秀賞** 「**一瞬の輝き 永遠の思い出 荒尾県体**」 松藤亜由美さん（中央北）

【問】県体推進室 ☎ 62-0400

# 11月 「全国青少年健全育成強化月間」

次代を担う青少年が、社会における自らの役割と責任を自覚し、豊かな個性と能力を培い、非行に陥ることなく、心身ともに健やかに成長することは、国民すべての願いです。本市でも11月を「青少年健全育成の月」（市強化月間目標）と定め、青少年の健やかな成長を願って指導、相談、啓発活動などを実施しています。市民の皆さんも、将来を担う青少年の健全育成のために、今、地域や家庭で何が必要か、何をすべきかをこの機会に改めて考えていただきたいと思います。

## ▼地域で一体となって青少年の育成を

地域において、日ごろから子どもたちを温かく見守り、励まし、ときには注意したりすること、有害な情報や環境から子どもたちを守ることなど、より多くの人々がさまざまな地域活動に関わることで、青少年の健全育成に大きな力となります。

## ▼家庭のあり方を振り返ろう

親は、子どもの基本的な人格形成について、自らに責任があることを自覚しましょう。また、基本的な生活態度や社会規範など、子どもに伝達していく責務を、子ども本人に対してでなく、社会に対しても負っていることを強く認識しましょう。

家庭でのしつけ、ふれあいと信頼関係の大切さなど、家庭

とが望まれています。

## ▼青少年の育成は、大人一人ひとりの責務です

大人自身が、社会の基本的なモラルやルールを身をもって教えていくという姿勢が求められています。

## ▼青少年の多様な社会参加活動を支えよう

これからの時代を支える青少年の育成のためには、さまざまな社会参加活動を通じて、より多くの青少年が自律性や社会性を育むことができるようにすることが重要です。

より多くの大人たちが青少年と一緒にあって、ボランティア活動、スポーツ・文化活動などの社会参加に取り組むこ

## 【11月の少年相談】

悩みごと、心配ごとなど少年相談全般について、皆さんのご相談をお受けします。早めの相談が青少年を救います。小さなことでもお気軽にどうぞ。

●日時 11月15日（日）  
午前10時～午後3時

●場所 中央公民館B室

※秘密は厳守します。電話や手紙での相談も受け付けていますので、希望する人は少年指導センターへお申し込みください。

【申・問】少年指導センター  
☎ 66・1373

# 平成20年度

# 決算の状況

平成20年度の市財政の

決算状況について報告します

## 決算とは

市の会計年度は、4月から翌年3月までを一区切りとした12カ月間をいい、「決算」とは、一会計年度間における歳入歳出について「予算」と対比して実績を確定させることをいいます。どのくらい収入があるのか、そのお金をどのように使うのかといった予定を示す「予算」については、その年度の開始前に市議会の議決を経なければならず、実際にいくらの収入や支出があったかを明らかにする「決算」については監査委員の意見を付けて、議会の認定に付さなければなりません。荒尾市では決算特別委員会などで詳しく審議された後、12月に市議会にて認定を受ける予定です。

市の会計は一般会計、特別会計、公営企業会計という3つのグループで成り立っています。

**【一般会計】**市の会計の中心をなすもので、行政運営の基本的な事業である福祉、ごみ処理、消防、教育、道路の整備などの事業に充てられ、市政の基本となる会計です。主に市税（市民税や固定資産税など）や地方交付税などでまかなわれています。

**【特別会計】**国民健康保険事業や介護保険事業など特定の事業を行う場合に、国民健康保険税や介護保険料など特定の歳入をもってその歳出に充てるもので、一般会計と区別して整理するものです。荒尾市には五つの特別会計があります。

**【公営企業会計】**水道、病院など、民間企業と同じように、事業で収益をあげてまかなわれる会計です。荒尾市には2つの公営企業会計があります。

### 【一般会計収支状況】

平成20年度の荒尾市の一般会計決算額は、歳入が191億2千234万8千円（対前年度比10・0パーセント増）、歳出が178億7千562万2千円（対前年度比4・0パーセント増）で、差し引きプラス12億4千672万6千円となりまして、平成21年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支では、プラス4億2千815万6千円となり、3年連続で黒字決算となりました。

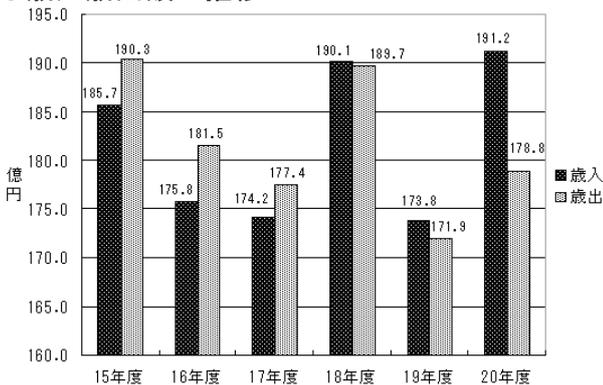
単年度収支（当該年度と前年度の実質収支を比較したもので、前年度以前からの収支の累積を除き、当該年度だけの収支を把握するために用いる）を見ますと、2億5千277万2千円の黒字となつています。

### ●一般会計収支状況

単位：千円

区分	平成20年度		平成19年度
	決算額	伸率(%)	決算額
(A) 歳入総額	19,122,348	10.0	17,382,402
(B) 歳出総額	17,875,622	4.0	17,185,163
(C) 歳入歳出差引(A-B)	1,246,726		197,239
(D) 翌年度へ繰越すべき財源	818,570		21,855
(E) 実質収支(C-D)	428,156		175,384
(F) 単年度収支	252,772		145,163

### ●歳入歳出額の推移



一般会計については、これまでにおける集中改革プラン等の取り組みにより、財政状況が健全な方向へ向かいつつあることを示しています。

